



録画配信の
2次元コード

太田 博希
健政会

物価高騰の影響調査を求む！ 早期発見・早期支援の体制づくりを

◆物価高騰に伴う市民生活・地域経済・市内事業者への影響を認識して、市独自支援策の拡充を要望する

Q 市民生活に与えている影響をどう認識しているのか。相談件数などの変化を把握しているか

A 企画財政部長 エネルギーや生活必需品全般に及び、全ての世帯に影響があるものと認識している。担当窓口では、さまざまな生活相談が寄せられているが、物価高騰対策を求める目立った意見や相談は、現時点では確認されていない。

Q 市民生活への影響は長期化しており、子育て世帯、高齢者、低所得世帯さらには中小事業者にとって厳しい状況が続いているため、市独自の支援策の拡充を要望するが、市の考えは

A 企画財政部長 国では給付付き税額控除や消費税減税など、さまざまな対策が検討されている。本市においても、市民生活を支える観点から、物価高騰に係る各種事業をはじめ、多様な支援に取り組んでいる。こうした実績を踏まえ、今後の支援策は、国の補正予算の活用を前提に、実施にあたっては、各所管に届く市民の声を踏まえながら、国や県の対策が行き届かない世帯などに対する支援を基本に検討していく。



食費負担が大きいと切実な声が…



録画配信の
2次元コード

笹本 英輔
健政会

教育DXを問う～主役は「人」 子どもと向き合う時間の創出～

◆一人一台端末 活用の格差解消とDX推進

Q 更新された情報端末の利活用状況には学校間で差がある。今後のDX推進方針をどう描くのか

A 学校教育部長 学校間・教員間のICT活用力の格差等が課題であり、教職員研修を充実させ教育DXをさらに推進する。

◆電子図書館で活字離れ対策を

Q 小中学生の活字離れ対策や情報リテラシー育成、学校・家庭支援の観点から、民間の電子図書館サービスを導入・活用しては

A 学校教育部長 本年7月に市民向け電子図書館サービスの準備を進めている。導入後は学校とも連携し、タブレット端末等で電子書籍にアクセスできる環境を整え、学校図書館や市立図書館の蔵書と併せて活用し、読書習慣の定着を図る。

◆禁止でなく「使いこなす力」を

Q 生成AIを一律に制限するのではなく、ハルシネーション（AIがもっともらしい誤情報を生成する現象）等のリスク理解と、思考を深める道具としての能動的な活用の両面を、実践的に子どもたちへ指導すべきでは

A 教育長 求められるのは大人が責任を持って使い方を示し導くこと。教員研修の充実と保護者への啓発を進め、子どもが主体的に判断し適切に使いこなす力を育めるよう、学校・家庭・地域が一体で継続的に取り組む。



教育のDX化と豊かな学び

その他のテーマ▶副教材のデジタル化で保護者の負担軽減
▶外国にルーツを持つ児童生徒への支援